

# 廿日市市図書館基本計画（案）について

## 1 策定の趣旨

文科省告示「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に「市町村立図書館は、（中略）事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。」とあります。

本市には3館の図書館があり、現在、筏津地区公共施設再編整備事業による「はつかいち市民大野図書館」の再整備が進んでいる中、それぞれの図書館の果たしてきた役割を確認し、今後、10年間の図書館のあり方を明らかにすることを目的に本計画を策定します。

## 2 計画期間

令和元年度中に策定し、令和2年度から令和11年度までの10年間を計画期間とします。

## 3 基本理念

心地よく過ごせる場所 ～ 行ってみたい図書館、また行きたくなる図書館へ ～

## 4 基本方針

- (1) すべての人の居場所としての図書館
- (2) 地域の「情報ステーション」としての図書館
- (3) 考える市民を育てる図書館
- (4) コミュニティの中核となる図書館
- (5) 多様な情報へのアクセスが整備されている図書館

## 5 主な施策と指標

区 分	主な施策	主な指標
すべての人の居場所	施設のリニューアル 多様なニーズに応える時間・空間・職員の創出 バリアフリー化とサービスメニューの充実	・人口1人当たり来館回数 4.3回以上/年(H30 4.3回) ・利用者の職員対応への満足度 93%以上 (H30 92.1%)
地域の「情報ステーション」	資料の充実 検索・予約しやすいシステム導入と周知 レファレンスの充実と他館からの取り寄せ 遠隔地へのサービス提供	・人口1人当たり蔵書数 4.0冊以上(H30 3.8冊) ・予約件数 95,300件以上/年(H30 95,299件)
考える市民を育てる	保育園・学校・市民センター支援・連携 おはなし会、講座の開催 テーマ展示・資料リスト・レファレンス 団体貸出による読書推進活動の支援	・レファレンス件数 3,250件以上/年 (H30 3,244件)
コミュニティの中核	ブックスタート事業・絵本サロン 読書体験の交流の場づくり、出張貸出 ボランティアの発掘・育成・連携 アーカイブ構築	・イベントや講座の参加者数 10,100人/年(H30 10,014人)
多様な情報へのアクセス整備	図書館システムの更新と利用方法の周知 デジタル情報と紙媒体の資料のバランス 返却・貸出しポイントの増設 業務の自動化	・資料返却可能市民センター数 全館(H30 1館)

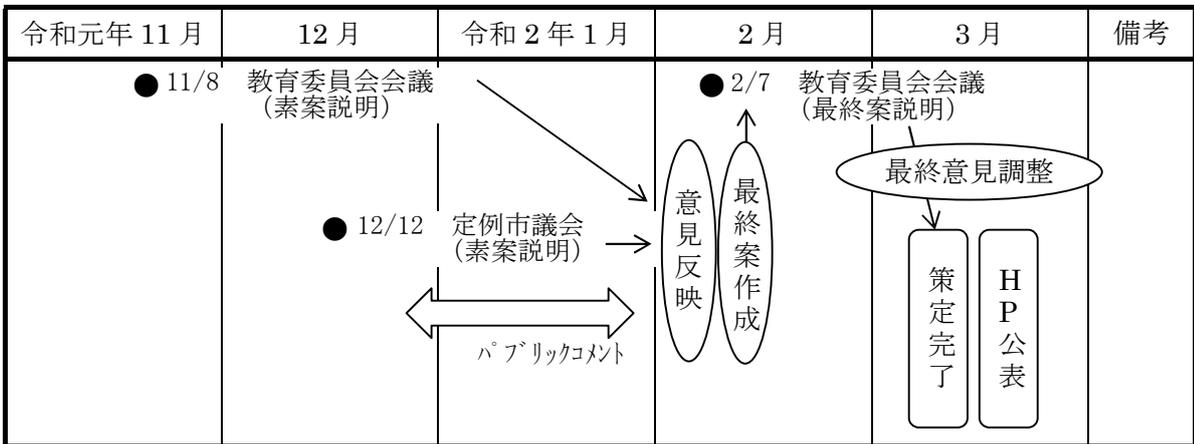
## 6 3館の役割分担

はつかいち市民図書館	全体統括とシステム一括管理
はつかいち市民大野図書館	子育て支援と移動図書館車の基地機能
はつかいち市民さいき図書館	中山間地域振興の一翼を担う

## 7 これまでの策定作業

平成30年度		令和元年度（10月まで）	
5月	図書館運営方針、役割の整理	6月	市民アンケート
6月	職員アンケート	7月	関係機関ヒアリング
7月	利用者アンケート	7月	教育委員会会議（策定スケジュール）
7月	図書館協議会（現状と方向性）	10月	図書館協議会（取り組みの柱と指標）
12月	職員アンケート		
3月	図書館協議会（理念と基本方針）		

## 8 今後のスケジュール



はつかいち市民図書館  
 広報担当：はつかいちさくら  
 公式ツイッター用QRコード

